

NPO 法人岡崎がくどうの会

基礎研修 2022 「生活と集団づくりの方法」

【クラブ】（つくしクラブ）

【名前】（西村 巧）

名古屋の労働会館。対面での研修。自分の他にもう一人。

・・・と同時にオンラインも配信のハイブリッド方式。

目の前に置かれた PC の向こう側に数十人が見え隠れしている。

研修の講師は見た目若そうな元気な早口の大学講師。

まずは昔と今の子どもが置かれた現状、そして子供たちに迫りくる近い未来の詳細。

自分は昭和、平成、令和と生きつないでいる初老の御仁。

講師の話は 3D で体験しているのですんなりとイメージできた。

現代は近所のつながりが希薄になっている反面、ネットにより世界とつながることが出来る環境となった。

昔ならある程度決められた線路を進む人生は、時を経て現代は選択肢が幅広く自由になった。

何が正しくて何が間違っているかの取捨選択は昔の「親に決められたレール人生」と違い自分たちで考え、行動していかなくてはならない。（皆がそうではないが・・・）

大事な事は「考えること」。

「答え」は一生懸命考えた人にしか出ない時代に突入している模様。

講師曰く、『生活と集団づくりは実はイコールなのでは』、との見解を示す。

「生活」があって、そこから派生する「集団づくり」。

現在の混沌とした環境を十分加味したうえで繰り返し上げられる生活。

それを踏まえたうえで作る集団。

僕ら指導員に与えられた使命は子どもたちに生きる力を与えてやること。

これはイコール「考える力」を養ってあげること。

さて、考える力を養うとは？

自分の思う「考える力」を養うとは、これは子どもに単純に問題提起をすることではなく、指導員（大人）も一緒に考えることで、その力は強固なものになるのでは、と思う。

時代はめまぐるしく変わった行き、そこに飲み込まれる今の子どもたちをの道しるべとなるべく、僕らはまだまだ勉強しなくては、と、同じ研修を受けているであろう見え隠れするハイブリッドの向こう側にいる見えない令和の産物に飲み込まれつつある仲間たちに思いを馳せてみる。